

【事例 5】 河内元気っ子体験村事業

実施年度	平成 15 年度～	連携・協働形態	委託												
事業内容	<p>実施期間：平成 15 年 8 月 5 日～8 月 11 日（6 泊 7 日） 実施場所：河内町及び近隣市町村 対象者：町内小学生 4 年生～6 年生 ねらい：異年齢集団による長期宿泊を伴いながら，自然体験活動等を通して心豊かに生きる力を養う 活動内容：野外炊飯，ウォークラリー，キャンプファイヤー，航空博物館見学，麻薬探知犬訓練所見学，酪農体験，牛乳工場見学，水難救助訓練（ 1 ），ポート川下り（ 2 ），テント設営（ 3 ）・宿泊（ 4 ），乗馬（ 5 ），郷土料理づくり，洗濯等 1～5 が NPO 小貝川プロジェクト 21 との協働活動プログラムの育児不安や補助：茨城県教育委員会（地域で育てる元気っ子体験村事業）</p>														
連携・協働の範囲	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画</th> <th>実施</th> <th>実施後の評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>行政</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>NPO</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				計画	実施	実施後の評価	行政				NPO			
	計画	実施	実施後の評価												
行政															
NPO															

（行政）

市町村名	河内町	担当課	教育委員会 生涯学習課	電話	0297-84-2843
------	-----	-----	----------------	----	--------------

連携・協働事業を行ったきっかけ（発意者：行政）

「自然体験を中心にした活動プログラムを通して，子どもたちの生きる力を育てよう」する趣旨の本事業に，NPO 小貝川プロジェクト 21 が有する「川遊びに関する専門的指導力」を活用させて頂きたいと考え，事業の計画段階から，連携・協働を依頼した。

役割分担

NPO 側：河内元気っ子体験村事業の活動プログラムの一環として，「子ども水辺安全講座」を実施する。

行政側：当日の引率と手伝い，実施に係る予算の確保，事前・事後の PR。

連携・協働によるメリット等（事業成果）

NPO 側から自然体験活動（特に川遊び）の事業運営に関する専門的なアドバイスを頂けたことが大きかった。

行政側担当者はいわゆるアマチュアであり，独自にプログラム等を企画しても実践にそぐわない内容が生じることもある。

その点、豊富な知識と実践経験を持つNPOスタッフの方々とプログラム内容を検討し合えたことは、大きなメリットとなった。

事前の事業PRに関しては、NPO小貝川プロジェクト21が開設しているホームページも紹介しておいたので、参加を検討していた保護者等にとっては大きな参考になったようである。

行政が出していた事業PRの資料はポスター・チラシだったため、画像等が豊富に掲載されたNPOのホームページとともに事業PRができたことは大きかった。

本事業実施後、他市町村等からの問い合わせを多く頂いた。その旅に、NPO小貝川プロジェクト21の概要と協議の有効性について紹介している。行政間を通してNPOの事業内容等が広がっていくことは、NPOにとってもメリットになっていくのではないだろうか。

連携・協働する上で配慮した点

活動プログラム内容の事前把握

行政側スタッフ（担当職員・ボランティア）自身が事業当日に活動プログラムを初めて体験するというのでは、NPOとの協働とはなりえない。協働どころか迷惑をかけてしまうことが予想された。

そこで、事業当日と同じ活動内容で行政側スタッフの事前研修を設けて頂いた。実際にスタッフが体験することができ、活動支援のポイント等をつかんでおくことができた。

課題と対応

他の子育て支援団体はNPO法人化されていないところが多く、今後、それら団体をどのように取り扱っていくか対応策を模索している。

連携・協働の今後の展望

本事業に関する連携・協働の継続はもとより、他の事業（学校週5日制対応事業等）でもNPO小貝川プロジェクト21が有する学習資源（人材・ハード・ソフト）を活用させて頂きたいと考えている。

特に、今年度は、台風による悪天候のため、協議計画を立てた2日間の活動プログラムが実施できなかった（行政側スタッフのための事前研修のみ実施）、来年度は是非実現させたいという。

（協働相手のNPO）

団体名	特定非営利活動法人 小貝川プロジェクト21	電話	0297-71-6520
住所	〒300-4511 北相馬郡藤代町櫛木4-9 小貝川生き生きクラブ内		

連携・協働事業を行ったきっかけ

河内町教育委員会の社会教育主事が、藤代町教育委員会の社会教育主事と知り合いで当法人の活動を知っていたこと。また、河内町教育委員会の社会教育主事が藤代町内に居住していて、子どもが当法人の事業に参加したことなどがあったことがきっかけとなった。

連携・協働によるメリット等（事業成果）

本年度は、台風により当NPOが担当が担当した「子ども水辺安全講座事業」は、実施できなかった。

たが、事前に行った研修会に河内町の社会教育主事と高校生スタッフに参加してもらい、事業の内容や意義について理解いただけたと考えている。

平成 16 年度も河内町教育委員会と同教育委員会から情報を得た伊奈町教育委員会が「子ども水辺安全講座事業」を行うことができた。

連携・協働する上で配慮した点

子どもたちの参加人数も多く、高校生スタッフは川での安全管理や野外での宿泊の経験がなかったため、当NPOが大学生ボランティアの野外体験研究会に参加してもらい、スキルアップをおこなった。

課題と対応

これまで 近隣自治体の教育委員会がおこなう野外体験活動のサポートをおこなってきているので、問題は感じられなかった。

連携・協働の今後の展望

県は市町村がNPOに委託しやすい補助事業を進めてほしい。